

氏名	: 日高 未希恵
学位の種類	: 博士 (看護学)
学位記番号	: 博看第8号
学位授与の要件	: 学位授与基準第4条第1項該当
学位論文題目	: 中山間地域の人口移動と少子化に影響を及ぼす要因 : ー宮崎県椎葉村を対象としてー
研究指導教員	: 教授 今井 秀樹
論文審査委員	(主査) 田中 留伊 (副査) 酒井 一夫、佐々木 美奈子、小西 祥子、今井 秀樹

## 論文審査結果の要旨

本研究は中山間地域の社会文化的特性、シビックプライドおよび再生産年齢女性人口に着目し、人口移動や少子化に影響を与える要因について、多角的に検討することを目的としている。

まず、人口減少率が低く出生数が多い地区の社会文化的な地域特性について、エスノグラフィーを用い質的に検討した結果、「地域資産継承と地域教育を軸に互助と愛着が廻る地域」というMain themeのもとに「互助」「地域資産継承」「子供の頃から地域教育」「女性・移入者の活躍」の4つのDomainが導出された。

次に、4つのDomainを用いて中山間地域振興尺度を開発し、その尺度および既存のシビックプライド尺度と人口移動と少子化について検討した結果、【地域資産継承】の意識には、子供や配偶者の存在、育児協力、地区行事の参加が規定因となることが明らかとされた。また、年少人口割合の高い地域の19-49歳の男女は【地域資産継承】の得点が高く、子供が規定因である可能性が示された。さらに、女性は中山間地域振興尺度の【互助】と【女性・移入者の活躍】、シビックプライド尺度の【愛着】と【アイデンティティ】が男性に比べ高い結果が得られた。19-49歳の女性は婚姻による移入者が多いため、居住年数は短い、結婚や出産、育児を通して、地域と繋がり、中山間地域振興およびシビックプライドの意識が醸成される可能性が示唆された。

これらの結果は、少子高齢化・人口減少社会が進行するわが国の地域看護および公衆衛生看護において重要な視点になると考えられる。

以上より、本論文および審査会における質疑応答を総合的に勘案し、学位規定第4条第1項に定める博士(看護学)の学位の授与に値するものと評価した。

令和2年1月28日

論文審査委員(主査) 田中 留伊